

花の木だより

発行日 令和2年9月2日

発行元 ふじみ野市立花の木中学校

住所

〒356-0013 中福岡213-1

電話 049-264-5400

No. 6

目指す学校像

花いっぱい 笑顔があふれ

自分も仲間も好きになる 花の木中学校

★始業式 式辞 花の木中学校長 森田 匠

夏休み中のニュースでは、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増えていること、このままでは大変なことになるというように恐怖心をあおる報道もありました。

しかし、文部科学省の分析では、中学生の罹患率・発症率・重症化率はともに低いことがわかっています。中学生の学校での感染はほぼないといえる状況です。

これは、1学期に行ってきた対策が有効だったということです。だから、2学期も引き続き対策を行いながら、少しずつ、できる限り、通常教育活動に戻し、みなさんの学びを守りたいと考えています。

どんなに気をつけていても、新型コロナウイルス感染症に罹ってしまうこともあり得ます。それが病気です。誰もが、罹患してしまう可能性があります。ニュースの中には、コロナにかかった人の行動などを批判的に報道するものもありました。また、病気になってしまった人が謝罪していることもありました。万が一、あなたがPCR検査を受けることになったら、あなたを責める人がいるかもしれません。でも、学校はあなたの味方です。まず、あなたがPCR検査を受けることも、その結果についても公にはしません。秘密を守ります。

今後、コロナに罹患した生徒がでても、「誰がコロナにかかったのか」憶測や想像をSNSにアップしたり、噂話をするのは、絶対にやめてください。誰が罹ったかは重要ではありません。重要なのはその後の対応です。感染した

生徒の回復と、感染の拡大を食い止め、学校全体の安全を守ることが最も大切です。学校は保健所と連携し、濃厚接触者の特定や、消毒など適切に対応し、みなさんの安全も必ず守ります。

新型コロナウイルスを過度に恐れる必要はありません。中学生は、しっかり対策をとることで、ほぼ防げることがわかっています。防げなかった場合の対応も準備しています。恐怖心に負けず、粛々と2学期の学校生活を送って欲しいと心から願っています。

2学期も、学校行事などが中止、延期、縮小などになっています。とても残念で、心が痛いですが、コロナの感染拡大防止と、教育活動の大切さと、社会の状況もみながら、ギリギリの判断です。どうか理解してください。

私たちは、できないことに目を向けずに、できることに感謝して、精一杯、生活しましょう。

世の中を見渡してみれば、熊本県などでは、7月豪雨で被災し、避難所で生活をしている方もいます。中国でも、洪水で、数千万人が避難しているそうです。

私たちが、被災者の方々のためにできることは、多くありませんが、せめて、自分の現状に不平不満を言わず、できることに全力を尽くしましょう。

12月28日まで、4ヶ月以上の長い2学期。

自分や家族、友だちの健康を守り、自分自身を成長させる充実した学期にしてください。



2学期も引き続き感染症対策をよろしくお願いします。

- ・毎朝の検温・健康チェックカードへの捺印、提出
- ・咳エチケットとマスクの適切な着脱
- ・清潔なハンカチ等の持参とこまめな手洗い(30秒以上)
- ・アクリルパネル活用
- ・できるだけ3密を避ける

【学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.8.6 Ver3) より】

文部科学省には、学校が本格的に再開し始めた6/1～7/31までの間に児童生徒 242 人、教職員 51 人、幼稚園関係者 29 人の感染の報告がありました。これらの感染経路や学校関係者への広がり状況をみると以下のとおりです。

(1) 児童生徒の感染状況

感染経路は「家庭内感染」が半数以上の 57% (242 人中 137 人) で、特に小学生では 70% (90 人中 63 人) を占めています。

一方、「学校内感染」は全体で 11 人 (5%) の報告があり、事例としては 4 件でした。これらは中学校・高等学校の事例であり、4 件のうち、2 件は感染者と同一部活動、残り 2 件は同一クラスの生徒と同一部活動の生徒がいずれもいる事例です。「感染経路不明」は 24% (57 人) でした。

これまでの事例をみる限りでは、**学校関係者に感染者がいたとしても、マニュアルにしたがって感染症対策を行っていた場合には、学校内で感染が大きく広がるリスクを下げる可以考虑**られます。

感染症対策を講じながら、**可能な限り、授業や部活動、各行事等の教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障**していくことが必要です。

マスクの着用について

身体的距離が十分にとれないときはマスクを着用すべきと考えられます。

ただし、**次の場合にはマスクを着用する必要はありません。**

- ① 十分な**身体的距離が確保**できる場合はマスクの着用は必要ありません。
- ② **気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日**には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、マスクを外してください。
- ③ **体育の授業**においては、マスクの着用は必要ありません。

テレビのワイドショーなどは、過激な表現に偏る傾向があります。必要以上に怖がらないよう、注意しましょう。

【生徒へのアンケートより】

手洗いは 30 秒以上などの**コロナ対策の知識は、8 割以上の生徒がしっかり理解**していることがわかりました。コロナに関することで**困っていることは、約 6 割の生徒が何もない**と回答しています。**2 割弱の生徒はコロナのことを考えるとイヤな気持ちになる**と答えています。学校でコロナに**感染する心配がある場面について、半数以上の生徒が何もない**と答えました。

また、以下のように、コロナに感染した人に対して、周囲の人は、差別的に扱うかもしれないと心配している様子が見られます。

- コロナになったら秘密にしたい : 25%
- コロナになったら秘密にしたい人が多いだろう : 55%
- コロナが治っても付き合うのをためらう : 8%
- コロナが治っても付き合うのをためらう人が多いだろう : 43%

【感染者がでた場合の対応】

保健所の指導を受けながら、他人にうつす可能性のある時期は病院や宿泊施設または家庭で隔離の措置となり、学校に登校することはできません。PCR 検査を受ける必要がでた場合、すぐに学校に連絡をしてください。

また、コロナから回復し、登校を許可された人が、他人にうつすことはありません。

【学校からのお願い】

- 心ない誹謗中傷や悪口、噂話などをしない
- SNS にあげないこと

誰もがコロナになる可能性があり、誰もが誹謗中傷を受ける立場になり得えます。コロナに感染した人の気持ちを考えて行動するようにしましょう。

みんなで病気に罹った人に温かい学校、学年、学級を創り上げましょう。

【地域の皆様へ】

学校では、厳しい暑さのため、登下校中マスクを**はずすように**しています。できるだけ距離を保ち、向かい合ったり、大声での会話をしないよう指導しています。ご理解のほどお願いいたします。